

# 令和5年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【美園中】

⑥ 次年度への課題と改善策	
知識・技能	
思考・判断・表現	
主体的に学習に取り組む態度	

① 目標・策	
目標	策
知識・技能	⇒ 「スタディサプリ」や、「ドリルパーク」等を活用し、言葉の使い方や特徴に関する事項、基本的な計算等の反復・習熟を行う。また、全学年で週末に課題を出す「学習実のチャレ」に取り組み、家庭での学習習慣の定着化と向上を図る。
思考・判断・表現	⇒ 各教科の学習活動において、主体的・対話的な深い学びを通じた問題解決学習を実践していく。特に「STEAMS TIME」では各教科の見方や考え方を働かせた教科横断的な探究活動を実施し、思考力・判断力・表現力を高める。
主体的に学習に取り組む態度	⇒ 実社会で新しい価値を生み出すことができる生徒の育成を目指し、全ての教科で探究的な学習や体験活動等を通して、生徒同士が協働しながら学習を進め、異なる考え方を組み合わせるなど、よりよい学びを生み出せる時間を設定する。

次年度に向けて  
(3月)

目標・策の設定  
(4月)

年度末評価

⑤ 目標・策の達成状況		評価(※)
知識・技能	<p>調査結果分析(2月)</p> <p>①結果分析(管理職・学年主任等)</p> <p>②詳細分析(学年・教科担当)</p> <p>③分析共有(児童生徒の実態把握)</p> <p>職員会議・校内研修等</p>	
思考・判断・表現		
主体的に学習に取り組む態度		

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(概ね達成) C 6割未満(あと一歩)

結果提供(2月)

さいたま市学習状況調査

<小3~中3>(1月)

④ さいたま市学習状況調査結果・分析	
中1	
中2	
中3	

② 全国学力・学習状況調査結果・分析	
知識・技能	特に国語では、「文脈に即して漢字を正しく書く力」に課題が挙げられたため、他教科等の学習や日常の会話の中でも漢字の書きについて意識するようにしていく。また数学では、今回の結果から特に図形への理解が課題として挙げられたため、直線や平面の位置関係を考察する活動を重視したい。
思考・判断・表現	英語の「書くこと」の領域において課題が見られた。無回答率も高く、自分が考えたことや感じたことを、その理由を交えて書くことが苦手な生徒が多いことが考えられる。事実や自分の考え、気持ちなどを「整理」することや、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて書く活動を重視したい。
主体的に学習に取り組む態度	R5年度全国学力・学習状況調査「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」の質問項目の、肯定的な回答の割合は昨年度よりも1.9pt上がっていた。より一層、子ども主体の学びとなるよう授業改善に努める。

調査結果分析(7-8月)

①結果分析(管理職・学年主任等)

②詳細分析(学年・教科担当)

③分析共有(児童生徒の実態把握)

③ 中間期見直し(全国学力・学習状況調査結果分析後)	
目標	策
知識・技能	⇒ 変更なし
思考・判断・表現	⇒ 1学期の策に加え、各教科において根拠をもとに自分の考えをまとめたり説明したりする時間を意図的に設定する。
主体的に学習に取り組む態度	⇒ 変更なし

中間評価(9月)  
目標・策の見直し